

だいじょうぶ  
つながる  
こそだて

# だっこ通信

第53号 2024. 12月発行

今年も読んでいただき  
ありがとうございました。  
来年もどうぞよろしく！



オンフー

## 視線

泣き声がうるさいな～  
何とかしてくれよ



どうしたのかしら・・・  
困ってるみたい・・・



赤ちゃんが泣いてるね  
声をかけてみようか

早く泣きやんで  
もらいたい



子どもを連れていると温かい視線を向けられることがあり、嬉しいですね。反対に、子どもの機嫌が悪く、泣いたりぐずったりしている時は、周りの視線が気になって、時には痛く感じる場合があります。

赤ちゃんが泣く、子どもがだだをこねる、それは当たり前のこと。けど、周りを気にして肩身の狭い思いをしたり、気まずい思いをしたりすることがあります。時には必要以上に子どもを怒ってしまうこともあります。泣き声を聞いて、「どうしたのかな？大丈夫かな？」と心配してくれる人もいれば、「うるさいから静かにしてほしい」と思う人もいます。赤ちゃんに慣れている人、子どもが好きな人、ぐあいが悪い人、疲れている人、大きな声が苦手な人・・・周りにはいろいろな人がいます。場所にもよりますが、「子ども連れOK」「泣いてもOK」という空間が増えると、視線を気にせず安心して外出できます。誰もが過ごしやすい社会になるように、温かいまなざしや寛容さが大切だなあと感じます。



## オンフーのつぶやき



以前こんな記事を読んだことがあるよ。投書した人が外国で暮らしていた時のこと。夜中に子どもがアパート中に聞こえるほどの大声で泣き出してしまったそう。申し訳ない気持ちでいたら、次々とアパートに住む人がやってきて、「大丈夫？これをどうぞ」と言って、おもちゃやお菓子を持ってきてくれたんだって。同じことが電車の中でも起きて、その時も周りの乗客がポケットやバッグからいろんな物を取り出し、子どもを泣き止ませようとあやしてくれたんだって。電車から降りるときも、近くにいた人たちが率先してベビーカーをホームに降ろしてくれたそうだよ。



さくら市でもこんな光景がたくさん見られるといいなあ。オンフーも小さなおもちゃをバックに入れて持ち歩いてみようかな(\*^-^\*)

発行者：さくら市生涯学習課（担当 鈴木）